

ファーストリテイリンググループ 環境方針

ファーストリテイリングは、「服を変え、常識を変え、世界を変えていく」というステートメントを掲げ、本来に良い服を創造し、世界中のお客様に良い服を着る喜びを提供することで人々の暮らしの充実に貢献し、自然との共生、および、社会との調和ある発展を遂げることを使命としています。

環境に配慮したビジネスを行うことは、効率化によるコスト削減（生産性の向上）や、お客様に驚きと魅力のある商品・サービスをお届けすることにつながり、結果的にビジネスの成長をもたらすものであると、私たちは考えています。ファーストリテイリングは、事業活動全般を通して、パートナーと協働しながら、自社とサプライチェーンにおける無駄をなくし、自然資源や生物多様性の保全への配慮の観点から資源の有効活用を促進するとともに、地球環境の負荷低減に貢献する革新的な技術の積極的な活用により、持続可能なビジネスを構築します。

お客様がお買い物や商品を使用するときにも、環境への配慮を実感できる、店づくり・服づくりをします。お客様が着なくなった服を無駄にしない循環利用の取り組みの推進を通して、お客様とすべての従業員とともに、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

取り組みの推進にあたっては、国連の「持続可能な開発目標（SDGs: Sustainable Development Goals）」や、気候変動枠組条約に基づいて策定された長期目標など、持続可能な地球環境の実現に向けた国際合意を尊重します。その上で、関連する国際機関および外部団体などとの強固なパートナーシップの構築を通して、より良い地球環境の実現に向けた取り組みを加速させていきます。

環境分野における具体的な取り組みは、「気候変動への対応」「エネルギー効率の向上」「水資源の管理」「廃棄物管理と資源効率の向上」「化学物質管理」の5つの領域で構成されます。また、この方針は、ファーストリテイリンググループ全社（新規事業への参入を含む）、サプライチェーン、商品が購入された後も対象としています。

この環境方針に基づき環境活動を確実に実行していくため、環境マネジメント体制を構築し、具体的な目標を掲げ、継続的に改善していくことにより、環境パフォーマンスの向上に取り組めます。さらに、環境・安全に関する情報を積極的に開示し、社会からの信頼の向上に努めます。

また、今後、取り組みを拡大し、大きな成果をあげるためには、アパレル業界全体が世界規模で連携・協働していくことが必要です。アパレル業界における重要な取り組みに参画し、国・地域や課題に応じて、様々なステークホルダーとの対話も進めていきます。

気候変動への対応

気候変動による自然環境と人々の生活への影響を軽減するため、商品の生産から廃棄までを含む、事業活動全般における温室効果ガス排出量の把握と削減に取り組みます。取り組みの推進にあたっては、気候変動枠組条約に基づいて策定された長期目標(パリ協定)における 2050 年までの温室効果ガス削減目標を尊重し、具体的な目標を掲げ、目標達成に向けた活動を推進します。

● 自社

エネルギーの使用由来で排出される温室効果ガスを削減するため、事業を展開しているすべての国と地域の店舗およびオフィスにおいて、オペレーションの改善と革新的な技術の導入、店舗設計の見直しなどによる省エネルギー化を推進します。同時に、店舗およびオフィスでは、温室効果ガスの排出量がより少ないエネルギーの利用を促進します。商品の企画および調達する原材料の選定では、より少ない温室効果ガス排出量で生産される原材料の利用を促進し、商品の原材料生産における温室効果ガス排出量の削減に貢献します。

● サプライチェーン

生産パートナー、サプライヤー、物流パートナーから排出される温室効果ガスの排出量を把握し、協働して温室効果ガス削減に向けた取り組みを推進します。

● お客様

お客様の日々の生活におけるエネルギー使用量の削減につながる、機能性のある服の提供を通して、排出される温室効果ガスの削減に貢献します。また、お客様のもとで不要になった服を回収し、服に新しい価値を与えて次へと生かすお客様参加型の取り組み「RE.UNIQLO」などの商品のリユース・リサイクルを通じて、お客様とともに商品・素材の循環利用(リユース・リサイクル)を推進し、資源の効率的な利用により、温室効果ガスの削減に貢献します。

エネルギー効率の向上

店舗の照明や空調、商品の生産で使用される機械、商品を輸送する車両など、事業全般で多くのエネルギーを利用しています。事業を展開している国と地域の目標を尊重しながら、サプライチェーンのパートナーおよびお客様と協働して、省エネルギー化を推進し、事業活動におけるエネルギー効率を向上させます。

● 自社

私たちが事業を行うすべての国・地域の店舗およびオフィスにおいて、オペレーションの改善と革新的な技術の導入、店舗設計の見直しなどにより、省エネルギー化を推進します。

● サプライチェーン

サプライチェーンにおけるエネルギー効率の向上のため、生産パートナー、サプライヤー、物流パートナーが、ファーストリテイリングの事業に関連して使用するエネルギー量を把握し、生産性の向上や省エネルギー機器の導入などを協働で実施します。

● お客様

お客様の日々の生活におけるエネルギー使用量の削減につながる、機能性のある服の企画・開発を推進し、より効率的にエネルギーが使用される社会の実現に貢献します。

水資源の管理

水は、ファーストリテイリングの服づくりにとって大切な資源です。服の原料となるコットンは、栽培の過程で大量の水を消費します。染色などの生産工程においても、多くの水が使用されます。ファーストリテイリングは、原材料の調達、生産、販売、商品の使用までのライフサイクルすべての過程において、地域の水環境の課題を特定し、その解決に取り組みます。具体的には、地域の課題に即した水の汚染防止と低減、使用量の削減を行うことで、地域の水環境を健全な状態にする「ウォーター・アクション」を実行していきます。また、一企業では対応しきれない課題解決に貢献するため、水資源に対しての取り組みを行っている企業・団体・NPO とパートナーシップを結んでいます。

● 自社

店舗やオフィスの水リスクアセスメントを定期的実施し、洪水リスクなどに対し未然防止とリスクの低減に努めるとともに、地域リスクに応じた課題の特定と解決に向けた取り組みを推進します。

● サプライチェーン

水供給リスクが高い地域や水使用量の多い工場を中心に、工場などで使用される水の使用量を把握し、協働して水使用量の削減に向けた取り組みを推進します。生産パートナーと協力し、より水使用量が少ないサステナブルな技術の導入を検討します。私たちはすべての生産パートナーに対して、排水の再利用や適切な浄化を行うための排水処理システムの設置を求め、水の汚染防止と低減に努めます。また、商品の企画および原材料の選定において、より少ない水で生産することのできる原材料の使用を促進し、水使用量の削減に貢献します。

● お客様

衣類の洗濯に使用される水の量を削減するための方策を、お客様とのコミュニケーションを通して模索していきます。

廃棄物管理と資源効率の向上

廃棄物は、適切な処理を行うことで再利用可能な貴重な資源になります。ファーストリテイリングは、事業活動全般から排出される廃棄物(お客様の商品廃棄を含む)について、排出量の削減をめざすとともに、再利用を推進し、資源の循環利用を実施します。また、循環経済(サーキュラーエコノミー)の実現と資源効率の最大化を追求するため、資源の使用量削減やリユース・リサイクルの促進などに取り組んでいきます。

資源効率を向上させるうえで最も大切なのは、長期にわたってお客様が服を愛用していただくことです。私たちは、より長くご使用いただける服をお客様に提供することで、資源効率性の高い社会の実現に貢献します。

● 自社

世界中で展開する店舗とオフィスから排出される廃棄物を適正に管理・処理することで、資源リサイクルを推進します。商品パッケージやお買い上げいただいた商品を入れるサービス袋は、使用量の削減を進めるだけでなく、お客様が廃棄するときに環境汚染を引き起こさないクリーンな素材の活用を推進します。

商品の企画および調達する原材料の選定においては、資源効率の向上につながる繊維の利用を検討します。加えて、LifeWear としてのタイムレスなデザインと耐久性を追求し、お客様に長く愛用していただける服を提供することで、資源がより効率的に使用される社会の形成に貢献します。

● サプライチェーン

生産工程における資源効率の向上や発生する廃棄物の抑制、繊維くずの再利用などの新しい技術を研究していきます。また、輸送方法の最適化や梱包材の再利用などを通して、廃棄物を最小限に抑えていきます。再利用できない廃棄物については、適切な廃棄物管理および処理の徹底を推進します。

● お客様

お客様が着なくなった服を回収し、再利用できる服は、服を必要としている人に提供します。再利用できない服は、適切な処理を実施したうえで、資源として様々な用途に活用する取り組みを推進します。

化学物質管理

化学物質は、染色その他の加工工程、仕上げ工程など、服の生産において重要な役割を担っています。ファーストリテイリングは、商品の生産プロセスにおいて、水や大気の汚染防止と低減に努めるほか、化学物質の管理を徹底し、環境を保護します。すべての取引先工場の協力のもと、商品や生産プロセスにおける有害化学物質の排出ゼロをめざし、お客様と工場従業員の安心・安全を守ります。また、化学物質管理に関する取り組みを行う団体とパートナーシップを結び、一企業では解決が難しい業界全体の課題に取り組んでいきます。

● 自社

生産プロセスでの使用・排出基準などを示す「制限物質リスト」を公開し、最新の知見に基づき、定期的な見直しを行います。

● サプライチェーン

有害化学物質排出ゼロ達成に向けた取り組みを推進するために、生産パートナーと協力して、有害化学物質の代替物質の採用や排水検査を実施します。